

夜間中学二一ズ調査

調査結果報告書

令和4年8月

いわき市教育委員会事務局 生涯学習課

夜間中学とは？

■ 「中学校夜間学級（公立夜間中学）」

義務教育を修了できなかった人などのために、公立中学校が夜間に開設する学級で、主に中学校までの義務教育課程を学ぶもの（法に基づき設置）。

■ 「自主夜間中学」

教員OBなどの方が、ボランティア等により、希望者へ中学校の教科を教える民営のもの。

国の状況

- 平成28年法律第105号「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（平成28年12月14日公布、平成29年2月14日施行）の第7条において、**国が基本指針を定める**ことを明記。
- 平成29年3月31日、文部科学省が「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針」を策定。
- 基本指針3-(1)において、**全ての都道府県（及び政令指定都市）に少なくとも一つは夜間中学等が設置されるよう取組みを推進**することを明記。

【令和4年4月時点の設置状況】

公立夜間中学：15都道府県 40校（文部科学省HP）

自主夜間中学：17都道府県 33校（独自調べ）

※ 公立夜間中学については、上記のほか、次の自治体において開校予定又は新設検討がなされている。

R5.4開校予定：宮城県仙台市、千葉県千葉市、静岡県静岡市、兵庫県姫路市

R6.4開校予定：福島県福島市、大阪府泉佐野市

新設検討中：群馬県、鳥取県、長崎県、岡山県岡山市、福岡県大牟田市、宮崎県宮崎市、熊本県熊本市

福島県内の状況

- 事務担当：県教育庁義務教育課（夜間中学担当）
- 平成27年度に「夜間中学設置検討委員会」を設置。 ➡ 公立夜間中学の設置に係る検討を実施
- 県教育庁、13市担当者、関係機関等により年2回程度の会議を開催。
- 検討委員会において、毎年度、夜間中学のニーズに係るアンケート調査（はがき）を実施。
- 検討委員会において、毎年度、県内6か所で理解促進のためのセミナーを開催。
- 令和3年6月、公立の設置については、市町村立によるものとし、「国庫補助の活用」や、「県費による設置費用の一部支援」及び「教職員の配置等に係る人的支援」を行うとの方針を示した。
- 令和3年12月、福島市が令和6年4月に公立夜間中学を開設する予定であることを公表した。

【参考：県内の自主夜間中学】

- 福島駅前自主夜間中学
【運営】福島に公立夜間中学をつくる会
- いわき自主夜間中学
【運営】いわき自主夜間中学
- みなみそうま自主夜間中学
【運営】南相馬に夜間中学をつくる会
- 本宮自主夜間中学
【運営】本宮自主夜間中学

調査の趣旨

公立夜間中学の設置、又は自主夜間中学の支援等に係る本市の方針を検討する基礎資料とするため、市民に対し、夜間中学に係るニーズ調査を行うもの。

調査対象

市民全般（当事者及び家族、支援者等）

調査内容

① 夜間中学を必要とする人 ② 必要とする理由 ③ 希望する教科 ④ 希望する実施形態
⑤ 年齢、中学卒業の状況、出身国

調査期間

令和4年3月1日（火）～ 4月30日（土） ※2か月間

調査方法

インターネット上に設置するアンケートフォームによる調査

→ QRコード読み取りでアクセスし回答を求める方式。
併せてQRコードを掲載したチラシを支所、公民館等へ掲出。

周知方法

ニーズ調査の実施及びアンケートへの協力依頼を広報媒体にて周知

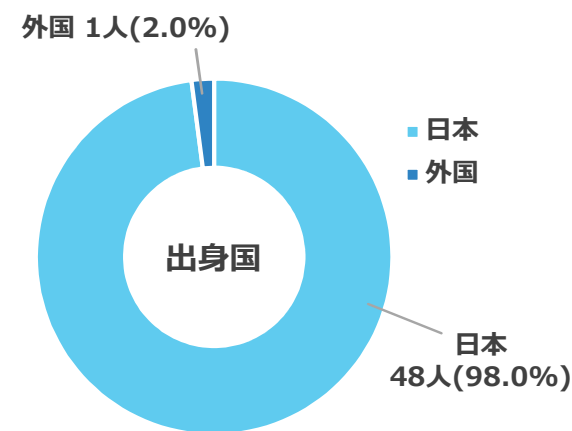
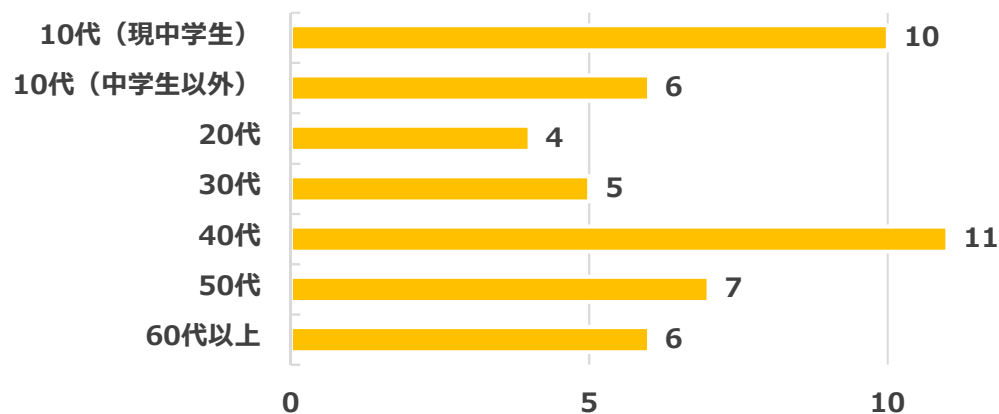
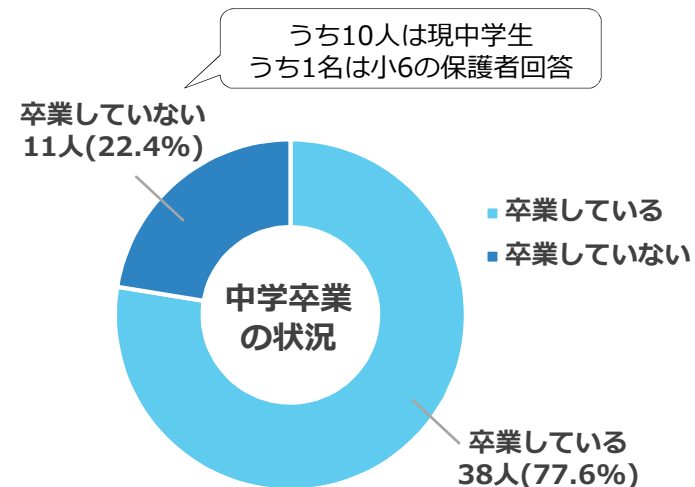
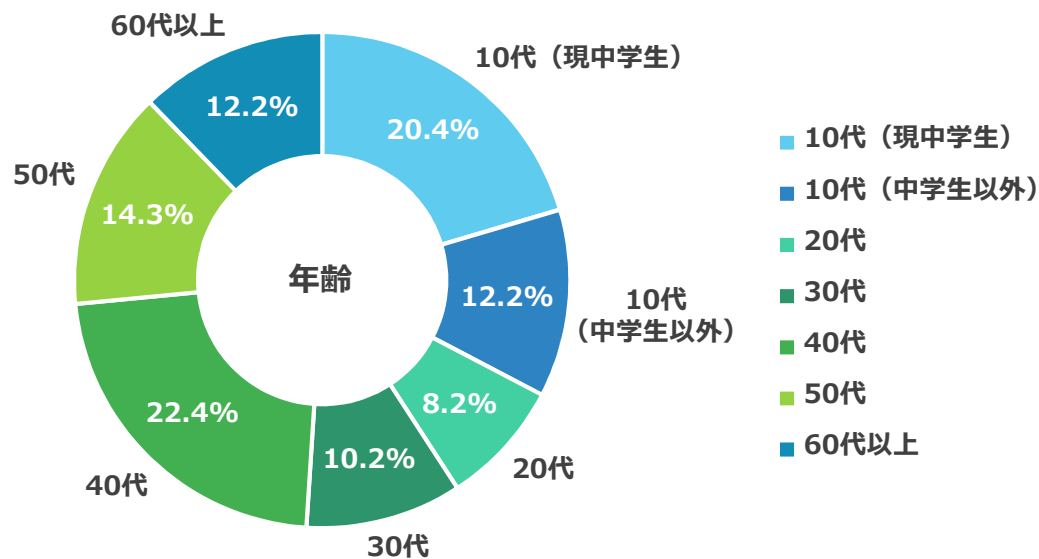
- ▶ 2月28日 報道機関への投込み
- ▶ 3月1日 市広報紙3月号への特集ページ掲載・・・約11万世帯へ配布
- ▶ 3月1日～ 市公式HPへの掲載（～4月30日）
- ▶ 3月1日～ 支所・公民館窓口へのチラシの掲出（～4月30日）
- ▶ 3月1日 市公式SNS（Twitter）での周知

回答件数

49 件（うち10件は現中学生、1件は小学6年生に係る回答）

回答者の属性

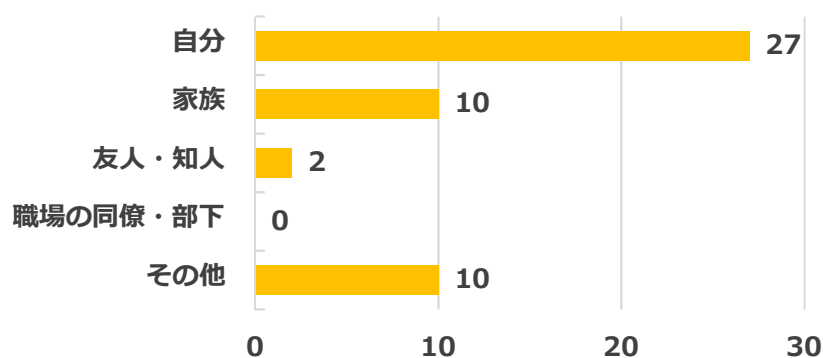
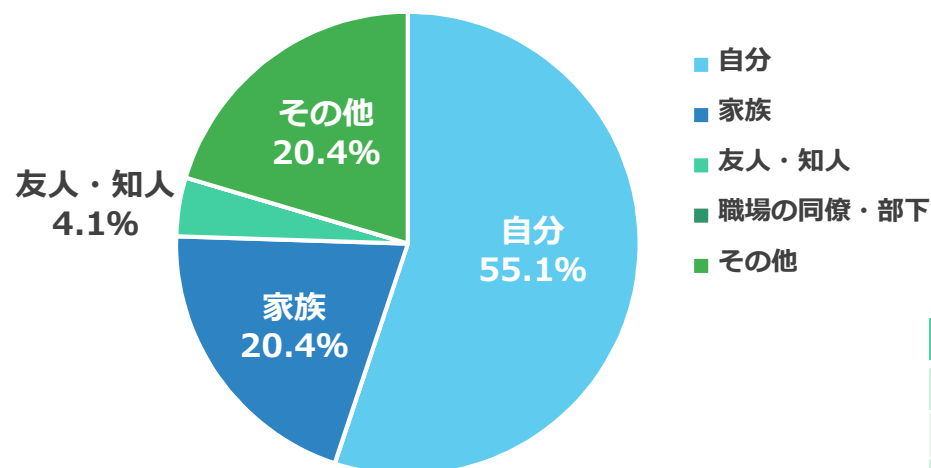
年齢は「40代」が最も多く22.4%となっており、次いで「10代（現中学生）」が20.4%となっている。中学校の卒業状況は「卒業している」が77.6%であり、「卒業していない」と回答した11人のうち10人は現中学生となっている。出身国は98%が「日本」となっている。



調査結果 < 問 1 >

問 1 夜間中学で学びたい、又は夜間中学を必要としている方はどなたですか？

「自分」が最も多く全体の55.1%となっている。次いで「家族」及び「その他」が20.4%となっている。「その他」の内訳は、「不登校を含む子ども」とする回答が多い。



その他の内訳

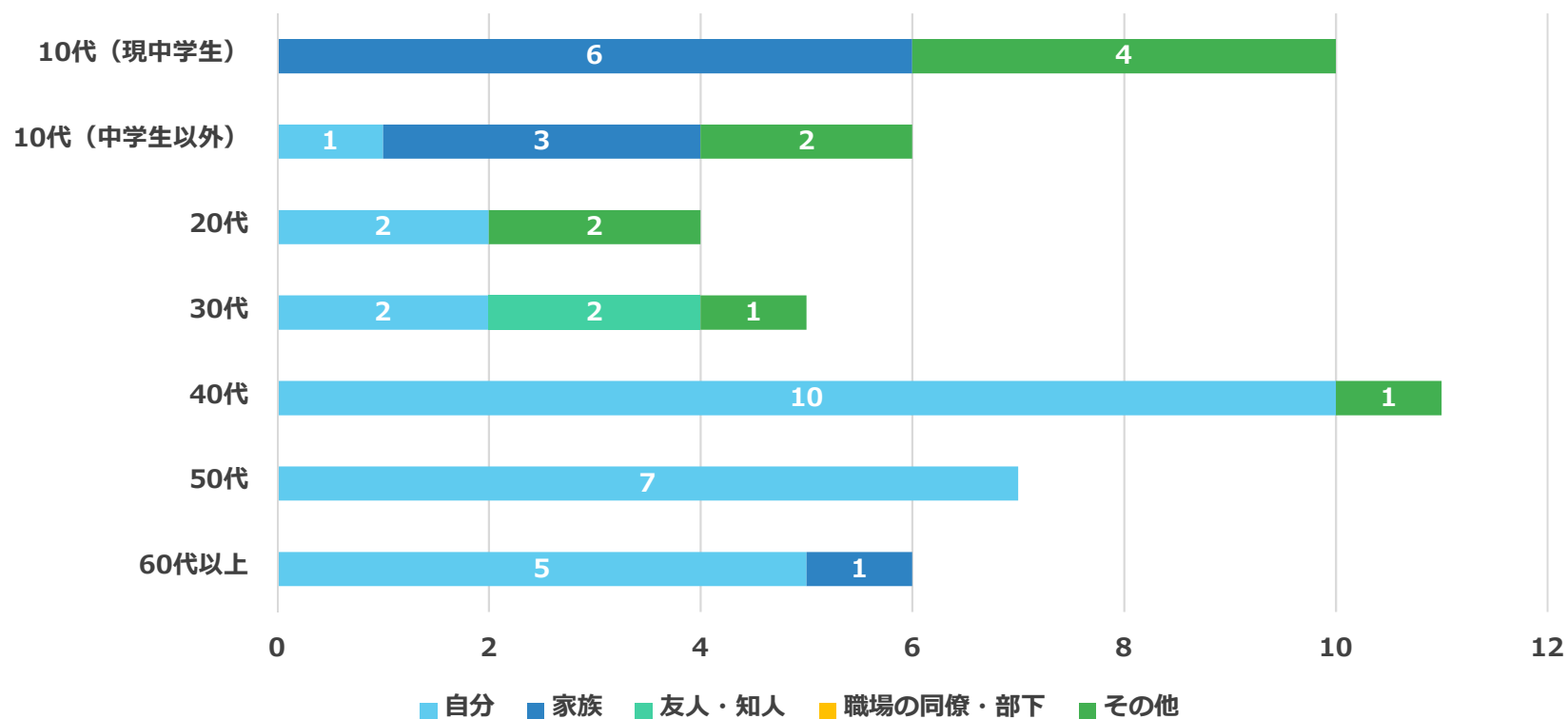
親が朝、学校に出してあげられない環境のため	10代(中学)
知り合いのお子様	10代(中学)
知人の不登校のお子さん	10代(中学)
もう義務教育が終わります 早く欲しかった	10代(中学)
友人の知人	10代
不登校のお子さん	10代
不登校経験者 年齢問わず勉強したくても勉強方法が分からず悩んでいる人 外国人の親を持つ子ども	20代
中学の教育をきちんと受けられなかった方	20代
こどもの同級生	30代
普段学校へ行けないお子さん	40代

調査結果<問1>

問1 夜間中学で学びたい、又は夜間中学を必要としている方はどなたですか？

年代別で見ると、10代の回答は概ね保護者等（大人）が回答しており、10代以外では「自分」と回答する割合が高くなっている。
学齢期にある10代（現中学生）10名と小学生1名を除くと、「自分」が71.1%を占める。

問1：年代別回答構成

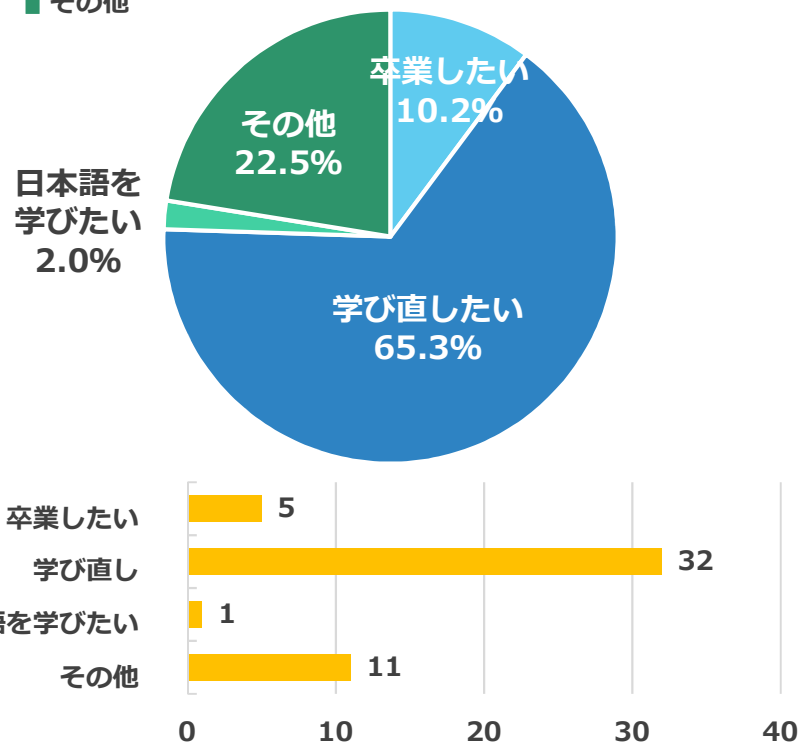


調査結果 <問 2>

問 2 あなた（又はその人）が夜間中学で学びたい理由は何ですか？

「中学校は卒業しているが、十分な学習ができなかったので、学び直したいから」が最も多く 65.3%となっている。次いで「その他」が22.5%となっており、「その他」の内訳は「不登校」を理由とする回答が多い。

- 中学校を卒業したいから（卒業資格が欲しい）
- 中学は卒業しているが、十分な学習ができなかったので、学び直したいから
- 外国出身の方などで、日本語を学びたいから
- その他



その他の内訳

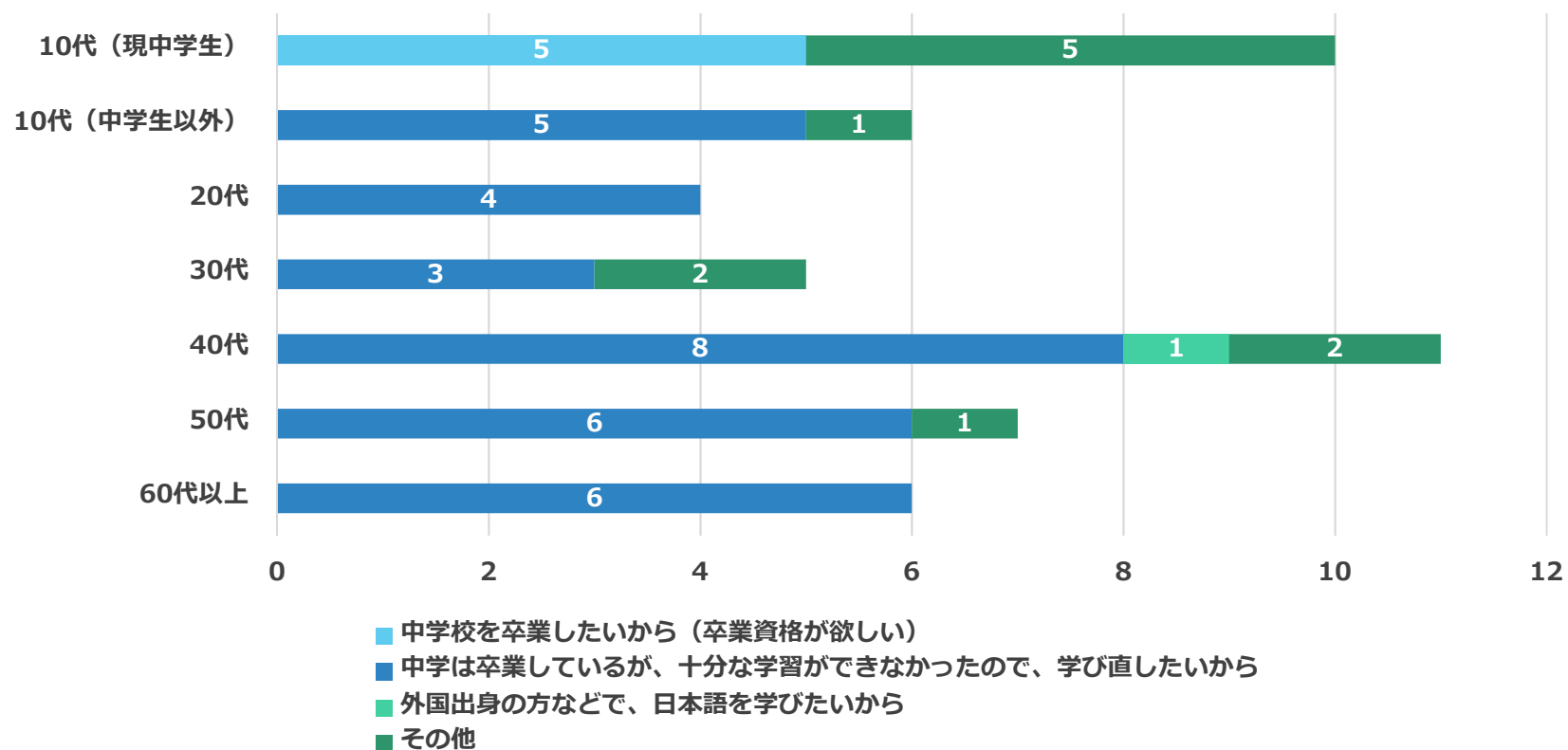
小学校、中学校共に不登校だったため	10代(中学)
現在不登校	10代(中学)
現在、中学生だが、学校へ行けていないので、将来的に夜間中学があれば、学びの選択肢が広がるから	10代(中学)
学校へは行けないが学習はしたい 外に出る機会を増やしたい	10代(中学)
学校が行きにくかったから 行けなくなっても、他の方法が選べなかったから	10代(中学)
現在、小学6年生で、不登校気味であり中学校でも不登校になった場合、教育の場がほしい	10代
大学まで卒業しているが、中学時代の歴史や理科、数学等は忘れ切っているので、教えてもらえる機会があるなら参加してみたい	30代
高校を卒業しているが、小中高とも自分が理解できないまま卒業となったので、学び直したい	30代
登校拒否をしてる子が、安心して通学出来る様に	40代
確認の意味で学び直ししたいため	40代
もう一度学びたくて応募します	50代

調査結果<問2>

問2 あなた（又はその人）が夜間中学で学びたい理由は何ですか？

年代別で見ると、10代（現中学生）は「卒業したい（させたい）」が半数を占める。
10代（現中学生）の「その他」も不登校に起因する意見が多い。
学齢期にある10代（現中学生）10名と小学生1名を除くと、「学び直し」が84.2%を占める。

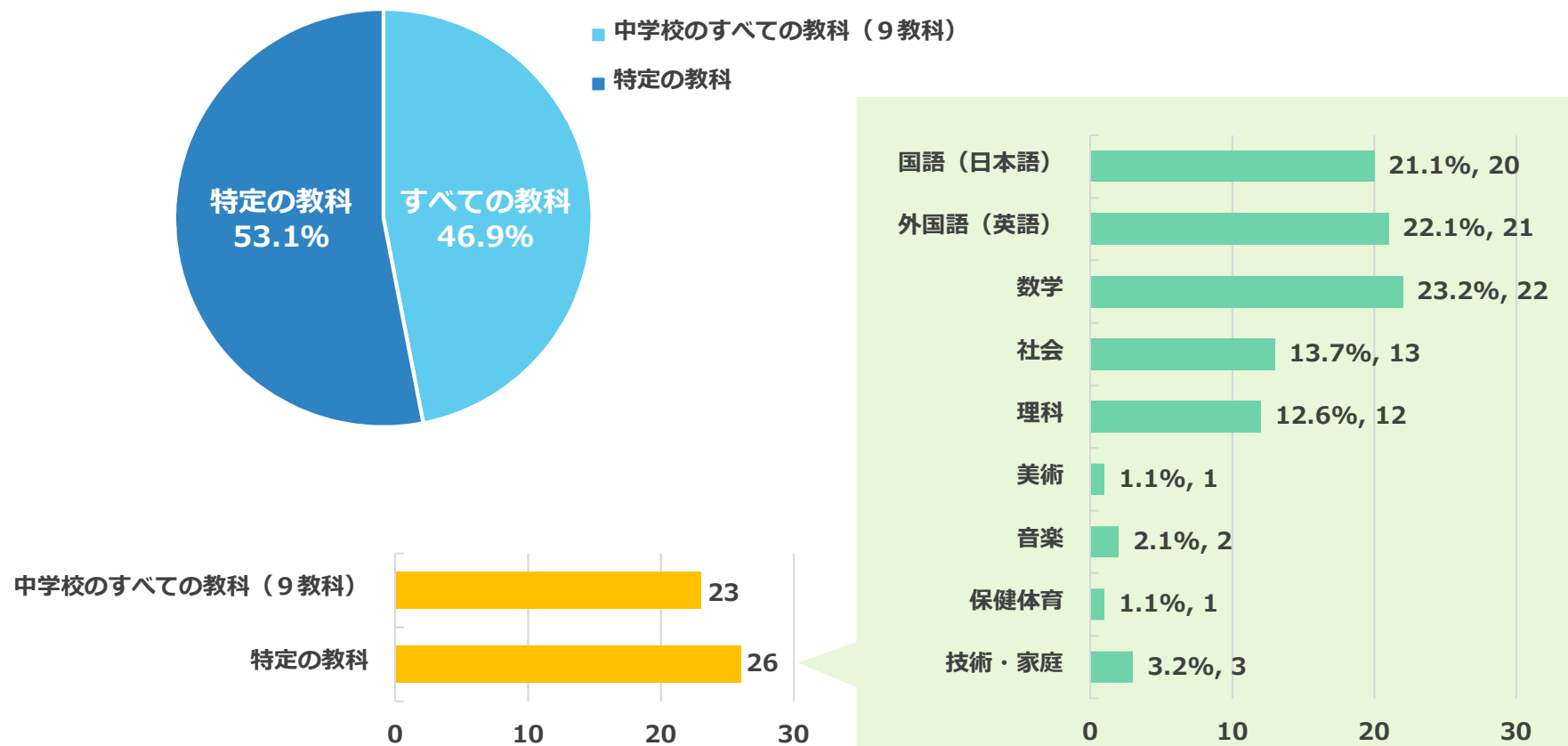
問2：年代別回答構成



調査結果 <問3>

問3 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような教科を学びたいですか？

「すべての教科」が46.9%、「特定の教科」が53.1%となっている。
「特定の教科」の内訳は「数学」が23.2%で最も多く、次いで「外国語（英語）」が22.1%、「国語（日本語）」が21.1%となっている。

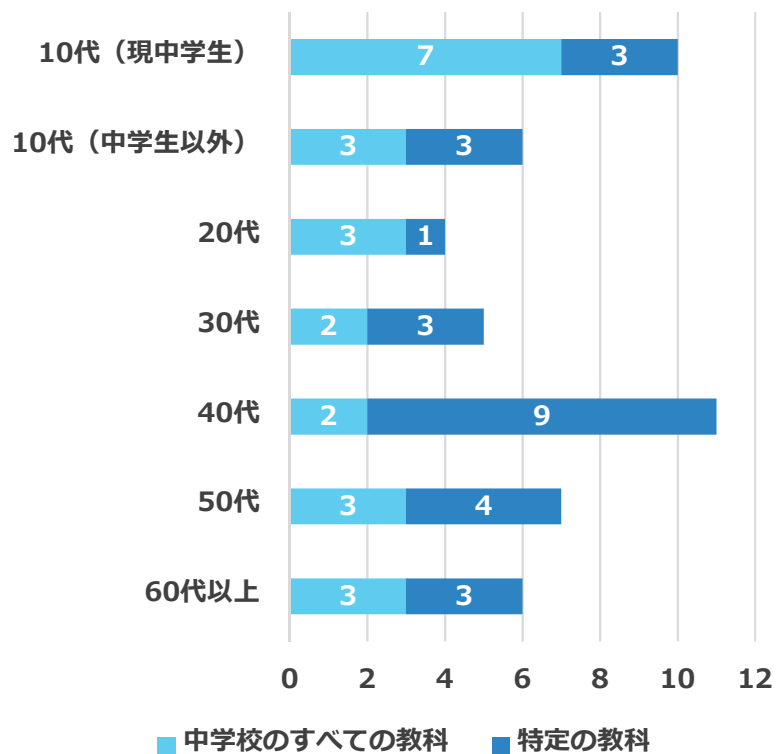


調査結果 < 問 3 >

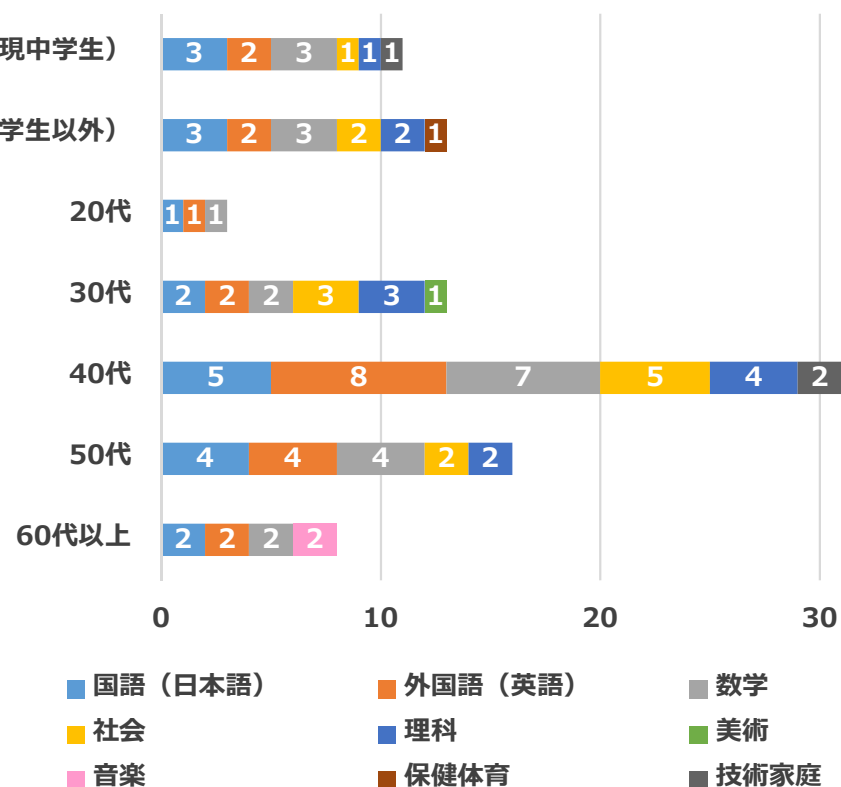
問 3 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような教科を学びたいですか？

年代別で見ると、「すべての教科」の回答は10代（現中学生）で多くなっているが、高い年代でも「すべての教科」の回答が一部見られる。
 学齢期にある10代（現中学生）10名と小学生1名を除くと、「特定の教科」が57.9%となる。

問 3：年代別回答構成



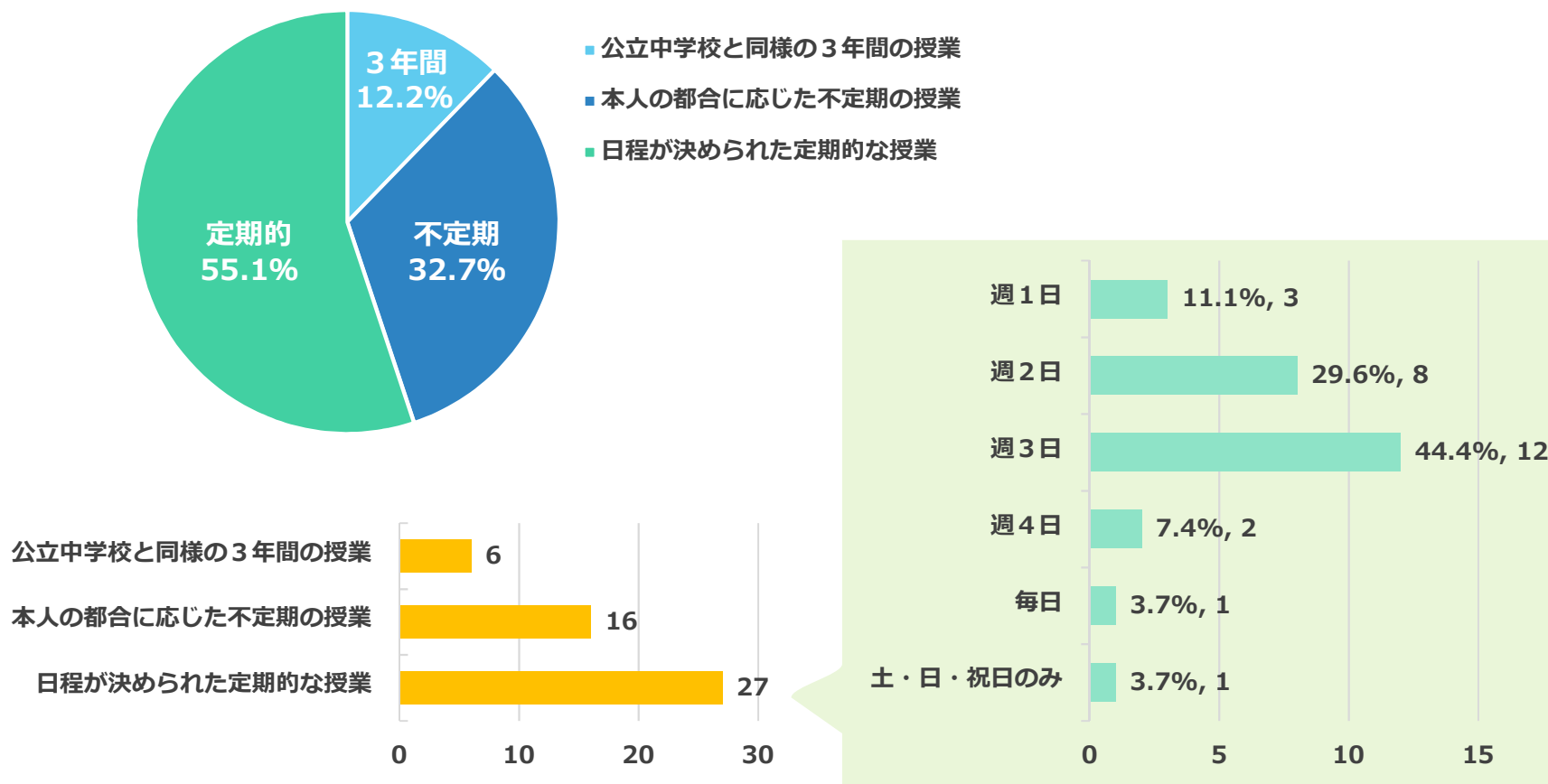
問 3：年代別回答構成
 （「特定の教科」と回答した人が学びたい教科）



調査結果 <問 4>

問 4 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような形態を希望しますか？

「日程が決められた定期的な授業」が最も多く55.1%、「本人の都合に応じた不定期の授業」が32.7%、「公立中学校と同様の3年間の授業」が12.2%となっている。「定期的な授業」の内訳は「週3日」が44.4%と最も多く、次いで「週2日」が29.6%、「週1日」が11.1%となっている。

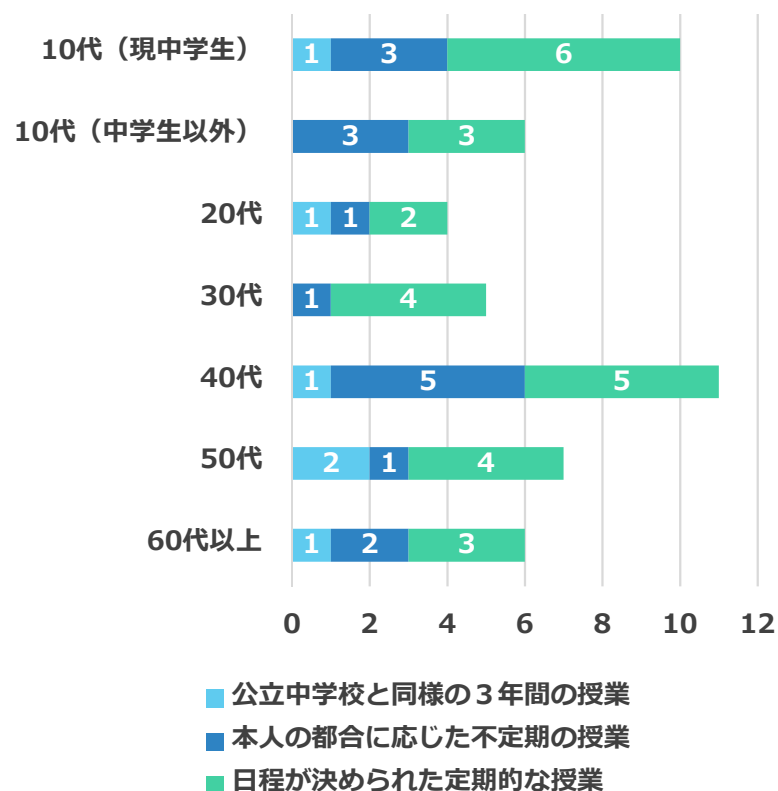


調査結果 <問 4>

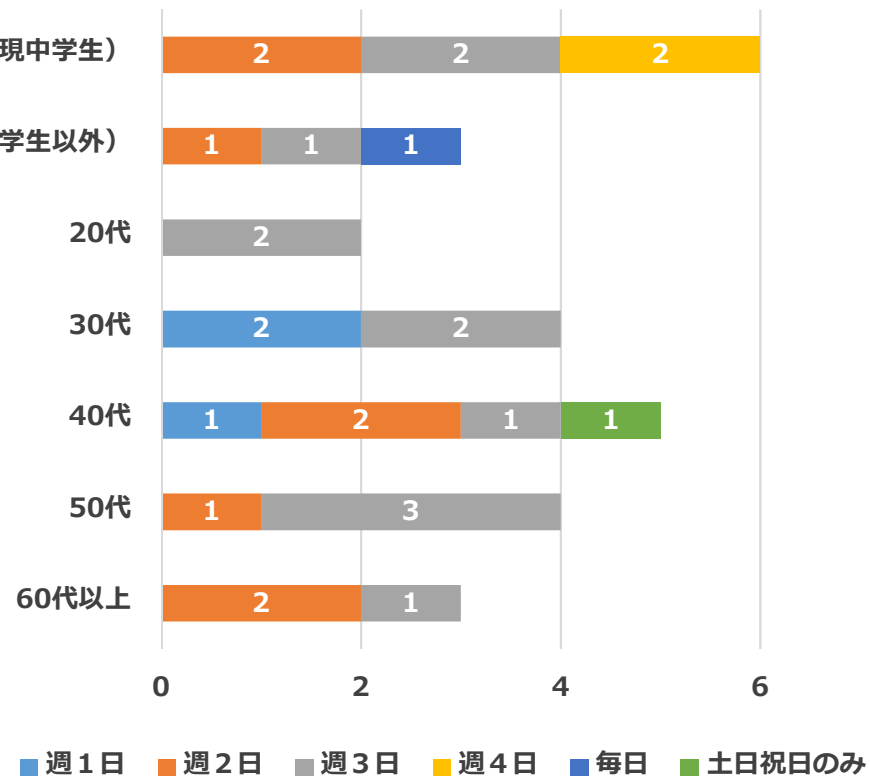
問 4 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような形態を希望しますか？

年代別で見ると、各年代で「定期的な授業」の回答が多い傾向にある。
また、定期的な授業の日程は、各年代とも「週2日」又は「週3日」の回答が多い。
学齢期にある10代（現中学生）10名と小学生1名を除くと、「定期的な授業」が52.6%となる。

問 4：年齢別回答構成



問 4：年齢別回答構成
(「定期的な授業」と回答した人が希望する日程)



【問1】 夜間中学で学びたい、又は夜間中学を必要としている方はどなたですか？

✓ 必要としている方 → 自分
55.1%

【問2】 あなた（又はその人）が夜間中学で学びたい理由は何ですか？

✓ 学びたい理由 → 学び直し
65.3%

【問3】 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような教科を学びたいですか？

✓ 学びたい教科 → 特定の教科（数学、英語、国語）
53.1%

【問4】 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような形態を希望しますか？

✓ 希望する形態 → 定期的な授業（週3日、週2日）
55.1%